

福祉サービス第三者評価の結果

H19年3月6日 提出

評価機関	名 称	社会福祉法人 弘前市社会福祉協議会評価機関
	所 在 地	弘前市宮園2丁目8-1
	事業所との契約日	H18年 7月13日
	評価実施期間	H18年 7月13日～H19年10月31日
	事業所への 評価結果の報告	平成19年2月9日

1 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概況

事業所名称 (施設名)	めぐみ保育園	種別	保育所		
代表者氏名 (管理者)	園長 内山 操	開設年月日	昭和50年4月1日		
設置主体 (経営主体)	社会福祉法人 慈成会	定員	60人	利用人数	71人
所在地	(〒036- 8095)弘前市大字城東2丁目1-12				
連絡先電話	0172-27-2013	FAX電話	0172-27-2013		
ホームページアドレス					

(2) 基本情報

サービス内容 (事業内容)	施設の主な行事		
乳児保育、延長保育、世代間交流事業、異年齢児交流事業	入園・進級式、子供の日お祝い会、母の日、父の日、七夕		
食育促進事業、むし歯予防事業(フッ素塗布)、スイミング	夕涼会、ネプタ運行、運動会、展示会とバザー、七五三お祝い会		
まなぶくん(コンピューター)	クリスマスお遊戯会、餅つき、豆まき、ひなまつり、保育参観		
	お誕生会、身体測定、健康診断、避難訓練、食育の日		
居室概要	居室以外の施設設備の概要		
保育室4室、遊戯室ホール、沐浴室、給食室、園長室	園庭、遊具		
教材室、職員休憩室、トイレ			
職員の配置			
職種	人数	職種	人数
園長	1	調理員	1
主任保育士	1	医師(嘱託)	1
事務職員	1	歯科医師(嘱託)	1
保育士	11		
栄養士	1		

2 評価結果総評

<p>◎ 特に評価の高い点</p> <ul style="list-style-type: none">利用者満足向上への取り組み <p>利用者満足の向上に向けた取り組みとして担当職員を決め、保護者に対して意向把握のためのアンケート調査の実施や、意見箱の設置による意向把握が積極的に実施されており、把握された要望や意向が職員会議において検討され改善策を講じ、実施可能なものから改善へといったサービス向上へ取り組みが積極的である。また、保護者に対し把握された意向への回答、取り組み状況の報告も実施している。</p> <ul style="list-style-type: none">子どもと地域のかかわり <p>永年にわたり、幼年消防クラブによる地域への防火活動や子ども赤十字活動での町内清掃、地域の高齢者、小学生との交流など、子どもが地域の人々とかかわる機会が多く設けられている。また、保育体験の中学生・高校生の受入れも積極的に実施され保育体験後に自発的に遊びに来る中学生と子どもの交流も大事にされている。</p> <ul style="list-style-type: none">食育への取り組み <p>子どもが好き嫌いなく食を楽しめるように給食部門と保育士部門との協力による様々な取り組みが行われ栄養バランスの取れた給食を提供している。また、食の楽しさ、大事さを伝えるために食に関する紙芝居を食時前に実施するなど積極的な食育が行なわれている。</p>
<p>◎ 特に改善を求められる点</p> <ul style="list-style-type: none">各種計画の策定 <p>保育園にかかわる様々な計画の策定が望まれる。3～5年の目標と実現に向けた具体策などを明記した中・長期計画、それらを反映した内容の単年度事業計画の策定と職員、保護者への共通理解の為に配布しての周知も望まれる。</p> <p>また、保育園運営にあたり必要な人材や人員体制に関する具体的な人事計画や、個別の職員の研修に関する職員研修計画の策定も望まれる。</p> <ul style="list-style-type: none">保育園の有する機能の地域への提供 <p>地域とのかかわりの一環として、保育園の持つ専門的な知識等の地域への提供が望まれる。具体的には、園内での積極的な保護者からの相談実績があるので、それらを活かした子育てに関する相談窓口の設置などが考えられる。地域の福祉・子育てニーズの把握にも繋がるので積極的な実施が望まれる。</p> <ul style="list-style-type: none">子どもの安全確保のためのリスクの把握 <p>各種事故発生への対応マニュアルの整備や事故防止策が講じられているが、園内で発生する子どもの安全を脅かす事例(ヒヤリハット)収集を実施し要因分析、防止策といった具体的な取り組みが望まれる。</p>

3 第三者評価結果に対する事業者のコメント

<p>第三者評価は、する側も、される側も嫌なものだと思う。他者の評価に対してそういう見方もあるという思いが大切だ。評価を真摯に受け止め、自分を見つめ直すことの良きチャンスであり、他者の評価を糧として職員一同の保育のあり方、そして保育園の運営に活かそうと思う。また、何よりも職員一同が真剣に第三者評価に取り組んだあの姿勢、情熱は今まで見られなかった職員の輝きを発見できたことが、事業者にとっては何よりの収穫だった。</p>
--

4 評価分類別評価内容

評価対象 I	1 理念・基本方針	「ひとりひとりを大切に」を保育理念として掲げ、個々の子供を尊重する保育を目標に園内ホールへの掲示や保育園パンフレット等にも明記され保護者にも配布され周知を図っているが、職員への周知や地域への周知が不十分なため、職員研修などでの理念・基本方針の確認、地域への広報誌等へ理念・基本方針の掲載による周知が望まれる。
	2 計画策定	中・長期の具体的な計画があるが、それらを明文化した中・長期計画が策定されていない。また、単年度の事業計画も行事計画にとどまらず中・長期計画の内容を反映させるなどの内容で策定されるのが望まれる。
	3 管理者の責任とリーダーシップ	園長の役割や責任については、各種書類にて確認できる他、各会議や現場への積極的な参加により保育内容を把握し、指導を行なっている。また、保護者アンケートの実施による保育サービスの質の向上への取り組みや、公認会計士による毎月の経営指導を受け経営安定を図るなど経営・運営に関してリーダーシップを発揮している。

評価対象Ⅱ	1 経営状況の把握	各種、保育関係の団体に加入する事により様々な情報等を収集し保育・福祉業界の動向を把握しており、公認会計士による会計指導を毎月実施し、経営状況の把握も適切に行なわれている。
	2 人材の確保・養成	職員の意向を把握する機会を定期的に設けたり、資質向上の為に外部の研修への参加が積極的に実施されているが、組織として、どのような人材を求め配置するなど人事に関する具体的な計画が策定されていないため、個別の職員の研修計画と併せて策定されることが望まれる。
	3 安全管理	事故発生緊急対応、防災、感染症対応など各リスク別のマニュアルが整備され職員間で共有し理解しているが、事故防止対策の一環として、子どもの事故事例や園内での発生したヒヤリハットの収集が実施されていないため、更なる安全対策に向けヒヤリハットの収集と要因分析、対応策の実施が望まれる。
	4 地域との交流と連携	地域の高齢者や小学生との交流、幼年消防クラブ、子ども赤十字活動を通しての地域との交流が活発に行なわれているが、保育園の有する専門的な機能の提供・開放といった取り組みが今後、期待される。
評価対象Ⅲ	1 利用者本位の福祉サービス	園の理念「ひとりひとりを大切に」を保育計画や指導計画に反映させ、個々の子供を尊重する姿勢が明示され実践されている。また、保護者に対するアンケートの実施や父母の会、意見箱の設置による保護者の意向把握を積極的に行い、把握された意向は職員会議にて検討され改善策を講じ実施され利用者本位の保育サービスの提供に努められている。
	2 サービスの質の確保	提供する保育サービスの質の向上に向けて、自己評価委員会が設置され、定期的な自己評価を実施する体勢が整備されており、今後も自己評価、第三者評価の実施が予定されている。また、一人ひとりの子どもの記録は、児童票をはじめ様々記録されており、定期の職員会議や、必要に応じて全職員参加での会議を随時開催し、子どもに関する状況等の情報を職員間で共有している。
	3 サービスの開始、継続	保育園利用開始時に保護者に対し、わかりやすい内容のパフレットにて保育内容及び諸経費についての説明がおこなわれており、保育園利用希望者に対しては随時、見学にて対応している。また、園を紹介したパンフレットは市役所窓口にも置いてもらい利用希望者に対しての情報提供としている。
	4 サービス計画の策定	入園時の個別面接、定期的に見直す家庭調書と身体状況等の記録が整理された個々の児童票により子どもの状況・状態が把握され、それらに基づき各目標を具体化した指導計画が年、月、週と策定され実施されており、定期的に指導計画の評価・見直しが職員会議にておこなわれている。
福祉サービス内容評価 (保育所A)	1 こどもの発達援助	指導計画の基本となる保育計画が、保育指針をはじめとした児童福祉に関する法令等の趣旨や保護者アンケート、父母懇談会にて把握された意向にも配慮した内容で策定され、それに基づいて策定された各指導計画に従い個々の子どもを尊重した保育が実践されている。また、歯科嘱託医との連携によるフッ素塗布等の虫歯予防や園全体で取り組んでいる食育が活発に行われ保護者からも好評である。
	2 子育て支援	保護者との日常的な連絡(連絡帳、送迎時の情報交換)が密に行われており、一人ひとりの保護者とのコミュニケーションを大事にしている。また、保護者からの育児相談等には随時プライバシーに配慮した形で実施されている。
	3 安全事故防止	衛生管理、感染症対策、食中毒防止、事故対応、不審者対策のマニュアルが整備され職員間での共有や訓練が行われており子どもの安全事故防止に努められているが、事故防止対策の一環であるヒヤリハット等の収集による要因分析、対策が行なわれていないため今後の実施が望まれる。

5 評価細目の第三者評価結果

評価細目の第三者評価結果

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織		第三者評価結果
I-1 理念・基本方針		
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。		
I-1-(1)-①	理念が明文化されている。	○a・b・c
I-1-(1)-②	理念に基づく基本方針が明文化されている。	○a・b・c
I-1-(2) 理念、基本方針が確立されている。		
I-1-(2)-①	理念や基本方針が職員に周知されている。	a・○b・c
I-1-(2)-②	理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a・○b・c
I-2 計画の策定		
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-2-(1)-①	中・長期計画が策定されている。	a・b・○c
I-2-(1)-②	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a・b・○c
I-2-(2) 計画が適切に策定されている。		
I-2-(2)-①	計画の策定が組織的に行われている。	a・b・○c
I-2-(2)-②	計画が職員や利用者等に周知されている。	a・b・○c
I-3 管理者の責任とリーダーシップ		
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	○a・b・c
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理化するための取り組みを行っている。	○a・b・c
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	○a・b・c
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	○a・b・c

評価対象 II 組織の運営管理		第三者評価結果
II-1 経営状況の把握		
II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
II-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	○a・b・c
II-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	○a・b・c
II-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	○a・b・c
II-2 人材の確保・養成		
II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
II-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a・b・○c
II-2-(1)-②	人事考察が客観的な基準に基づいて行われている。	a・b・○c
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
II-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	○a・b・c
II-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a・○b・c
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
II-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a・b・○c
II-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a・b・○c
II-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a・○b・c
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
II-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a・b・○c
II-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	○a・b・c
II-3 安全管理		
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。		
II-3-(1)-①	緊急時(事故、感染症の発生時など)の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	○a・b・c
II-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a・b・○c

(評価対象 II 組織の運営管理)		第三者評価結果
II-4 地域との交流		
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	Ⓐ・b・c
II-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a・b・Ⓒ
II-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	Ⓐ・b・c
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a・b・Ⓒ
II-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	Ⓐ・b・c
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a・Ⓒ・c
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	Ⓐ・b・c

評価対象 III 適切な福祉サービス		第三者評価結果
III-1 利用者本位の福祉サービス		
III-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
III-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
III-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	Ⓐ・b・c
III-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。		
III-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	Ⓐ・b・c
III-1-(2)-②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c
III-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
III-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a・Ⓒ・c
III-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a・b・Ⓒ
III-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a・b・Ⓒ

(評価対象 Ⅲ 適切な福祉サービス)		第三者評価結果
Ⅲ-2 サービスの質の確保		
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。		
Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a・ (b) ・c
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a・ (b) ・c
Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	a・b・ (c)
Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	(a) ・b・c
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立されている。	a・b・ (c)
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実践状況の記録が適切に行われている。	(a) ・b・c
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	(a) ・b・c
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	(a) ・b・c
Ⅲ-3 サービスの開始・継続		
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。		
Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a・ (b) ・c
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	(a) ・b・c
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		
Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a・ (b) ・c
Ⅲ-4 サービス実施計画の策定		
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。		
Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	(a) ・b・c
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	(a) ・b・c
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	(a) ・b・c
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス計画の評価・見直しを行っている。	(a) ・b・c

保育所A 福祉サービス内容評価		第三者評価結果
A-1 子どもの発達援助		
A-1-(1) 発達援助の基本		
A-1-(1)-①	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	Ⓐ・b・c
A-1-(1)-②	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2) 健康管理・食事		
A-1-(2)-①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-③	歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	Ⓐ・b・c
A-1-(2)-④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	Ⓐ・b・c
A-1-(3)-⑤	食事を楽しむことができる工夫をしている。	Ⓐ・b・c
A-1-(3)-⑥	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	Ⓐ・b・c
A-1-(3)-⑦	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a・Ⓑ・c
A-1-(3)-⑧	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a・b・Ⓒ
A-1-(3) 保育環境		
A-1-(3)-①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
A-1-(3)-②	生活の場に相応しい環境とする取り組みを行っている。	Ⓐ・b・c

A-1-(4) 保育内容		
A-1-(4)-①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	Ⓐ・b・c
A-1-(4)-②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	Ⓐ・b・c
A-1-(4)-③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	Ⓐ・b・c
A-1-(4)-④	身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている。	Ⓐ・b・c
A-1-(4)-⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるよう配慮されている。	Ⓐ・b・c
A-1-(4)-⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(4)-⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(4)-⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	Ⓐ・b・c
A-1-(4)-⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・b・c
A-1-(4)-⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	Ⓐ・b・c
A-1-(4)-⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。	a・b・Ⓒ

A-2 子育て支援		
A-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援		
A-2-(1)-①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	Ⓐ・b・c
A-2-(1)-②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	Ⓐ・b・c
A-2-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	Ⓐ・b・c
A-2-(1)-④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a・Ⓑ・c
A-2-(1)-⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	Ⓐ・b・c
A-2-(2) 一時保育		
A-2-(2)-①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a・b・Ⓒ
A-3 安全・事故防止		
A-3-(1) 安全・事故防止		
A-3-(1)-①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	Ⓐ・b・c
A-3-(1)-②	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については全職員にも周知されている。	Ⓐ・b・c
A-3-(1)-③	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。	a・b・Ⓒ
A-3-(1)-④	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	Ⓐ・b・c
A-3-(1)-⑤	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	Ⓐ・b・c